

國民精神總動員實施要領

一・二・八・三一
情報委員會

第一準備

- 一、各省ハ指導事項ニ關スル標語案、パンフレット資料、週報原稿、ピラ、ポスター資料其他各種指導資料等ヲ作成シ、情報委員會ニ送附スルコト
- 二、事變ノ意義ト國民ノ覺悟ヲ闡明、各省ノ宣傳事項等ヲ總括的ニ編輯シ、國民各戸ニ配布スベキパンフレットヲ作成ス

第二實施

- 一、第一期（九月十日頃ヨリ十月十二日迄）
主トシテ事變ノ意義ト國民ノ覺悟ヲ強調宣傳
- 二、強調週間（十月十三日ヨリ同十九日迄）

「國民教化宣傳方策」中「社會的教養向上、生活改善ニ關スル週間」ヲ之ニ宛テ、事變ト生活ヲ強

調

六

三、第二期（十月二十日以後）

第一期宣傳ノ繼續ト併セテ實踐指導事項ニ付國民ノ實踐ヲ求ムルコト

四、本實施期間中ニ於テハ國民教化宣傳方策ニ依ル甲號及乙號宣傳ハ總テ本運動ノ趣旨ニ立脚シテ實

施スルコト

國民精神總動員實踐事項

運動目標	實踐細目
<p>日本精神ノ發揚</p>	
<p>社會風潮ノ一新</p>	
<p>(1) 堅忍持久ノ精神ノ涵養</p>	<p>1. 不動ノ精神ノ鍛鍊</p>
<p>(2) 困苦缺乏ニ堪フル心身ノ鍛鍊</p>	<p>2. 必勝ノ信念ノ堅持</p>
<p>(3) 小我ヲ捨テ、大我ニ就クノ精神ノ體現</p>	<p>3. 對敵心構ヘノ訓練</p>
<p>(4) 各人ノ職分恪循</p>	<p>例ハバ 流言ニ迷ハヌコト 國家機密ヲ守ルコト 防空訓練</p>
<p>銃後ノ後援ノ強化持續</p>	<p>1. 勤儉力行</p>
<p>(1) 出動將兵ヘノ感謝及銃後後援ノ普及徹底</p>	<p>2. 生活ノ刷新</p>
	<p>3. 享樂ノ節制</p>
	<p>1. 派遣軍人家族慰問、家業幫助</p>
	<p>2. 殉國者慰靈、家族慰問、家族幫助</p>

七

秘

地方總動員警備協議會參考資料

昭和十二年九月

警備局

- (2) 隣保相扶ノ發揚
- (3) 勤勞奉仕

非常時經濟政策ヘノ協力

- (1) 勤勞報國
- (2) 勞資協力
- (3) 利益壟斷ノ抑制ト暴利抑制
- (4) 國債應募勸奨
- (5) 冗費節約貯蓄獎勵
- (6) 國際收支ノ改善

- (7) 金ノ使用節約

資源ノ愛護

3. 銃後後援獻金獻品

1. 奉仕事業ノ促進
2. 共同勞作ニ依ル生産力ノ維持

1. 國產品使用
2. 輸入品使用制限
3. 國產代用品ノ使用

1. 消費ノ抑制
2. 代用品ノ使用
3. 廢品ノ蒐集提供
4. 發明創造
5. 資源ノ蓄積
6. 國防資源ノ獻納